

初任者研修におけるOJTを活用した校内研修について

秋田県教育庁義務教育課

1 これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について

「教員は学校で育つ」ものであり、教員の資質能力を向上させるためには、経験年数や職能、専門教科ごとに行われる校外研修の体系的な実施とともに、学校内において同僚の教員とともに支え合いながらOJTを通じて日常的に学び合う校内研修及び園内研修の充実や、個々の教員が自ら課題を持って自律的、主体的に行う研修に対する支援のための方策を講じることが必要である。

「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～（平成27年10月 中央教育審議会答申より）

2 OJTとは

OJTとは、On the Job Training の略です。

学校の現場を想定した場合、業務を通して管理職や先輩教員が後輩教員に対して、あるいは、教員同士が協働して、職務に必要な能力を育成していく過程のことです。

3 OJTの意義

- ・ 一人一人の教員の能力に応じた具体的な指導が可能です。
- ・ 初任者にとっては、実際の業務にすぐに生かせる内容を学ぶことができます。
- ・ 管理職や先輩教員にとっては、業務を遂行する中で、初任者への研修を行うことができます。
- ・ OJTを受ける側と行う側の双方の自己研鑽につながります。
- ・ 育成される側がいずれは育成する側になり、育成機能の連続性が校内に確立されることとなります。
- ・ 実施状況に応じ、OJTの方法について適宜改善することが可能です。

4 OJTの活用例

| |
|---|
| <p>(1) 会議を活用する</p> <ul style="list-style-type: none">・研修例 「教育目標と学校経営」 <p>年度初めの職員会議後に、会議の内容で十分に理解できなかったところなどがなければ研修教員に確認し、補足の説明、解説等をする。</p> |
| <p>(2) 校内研修を活用する</p> <ul style="list-style-type: none">・研修例 「電子黒板等教育機器の活用」 <p>校内の電子黒板等教育機器に係る研修への参加を初任者研修として計画し、実施する。研修後、研修担当教員等が個別に解説等をする。</p> |
| <p>(3) 校内授業研究会を活用する</p> <ul style="list-style-type: none">・研修例 「教材づくりの実際」 <p>校内授業研究会に向けた教材の準備、指導案検討会、協議会への参加を初任者研修として計画し、実施する。</p> |
| <p>(4) 学校行事を活用する</p> <ul style="list-style-type: none">・研修例 「安全指導の実際」 <p>避難訓練の打合せの後に、訓練の目的と担当する役割等について理解させた上で、避難訓練に参加させる。</p> <p>※学校行事の例：交通安全教室、PTA、宿泊学習、職場体験 等</p> |
| <p>(5) 書類等を実際に作成する過程で指導・助言を行う</p> <ul style="list-style-type: none">・研修例 「指導要録の作成の仕方」 <p>指導要録の法的位置付けや目的、取扱い等についての留意点を説明した上で、実際の作成例を示し、作成させる。</p> <p>※作成する過程で指導・助言を行う書類等の例：通知表の所見欄の記入、学級通信、指導案の書き方 等</p> |

5 実施に当たってのポイント

- ・意図的、計画的、継続的に進めることが大切です。
- ・総合教育センター等で行われる校外研修と関連付けて実施することで、効果が高まります。
- ・成果と課題を検証し、改善を次に生かすことが、校内における育成機能の連続性につながります。